

# 福岡工業大学 総合研究機構 環境科学研究所 第17回 環境研究発表会

環境科学研究所は、広く社会環境に関する研究発表と、地域における環境関連活動の報告を兼ねた「環境研究発表会」を開催します。社会環境に関係した研究活動ならびに地域において様々な環境活動を実践されている方の発表を是非ご視聴ください。

◆ 開催日時 2023年3月4日(土) 12:30~16:15

◆ 開催方法 Zoom

◆ プログラム

12:35-13:35 特別講演「いま、捕鯨を考える」

<講師> 辻 信一 先生  
福岡女子大学国際文理学部環境科学科 教授

<講演概要>

捕鯨については、長年にわたる国際捕鯨委員会（IWC）での議論を経て、1982年に商業捕鯨の禁止決議が採択された。これを受け、わが国は1987年に南氷洋における商業捕鯨を中止し、翌1988年にはツチクジラなど国際捕鯨取締条約の対象となっていない小型クジラを除き商業捕鯨を中止した。しかし、商業捕鯨を全面的、無差別に禁止することに科学的正当性はなく、このような状況下で、わが国はその後数十年にわたり、科学的な資料を提供し、科学的な議論を提起し続けたが、聴き入れられることはなかった。

そのため、2019年にわが国は国際捕鯨取締条約から脱退し、わが国の排他的経済水域において商業捕鯨を再開した。捕鯨問題は、科学の問題ではなく、思想・信条、あるいは文化の問題なのであろう。

本講演では、欧米と日本の捕鯨の歩みを振り返り、両者の捕鯨を巡る考え方の相違を示し、その問題点を聴衆の皆さんとともに考えていきたい。

13:40-16:10 研究発表  
発表テーマは裏面をご覧ください

◆ 申込方法 視聴を希望される方は、QRコードよりお申込ください。  
お申込みされた皆様に、後日視聴URLをお送り致します。



◆ 申込締切 2023年2月28日(火)

お申し込みはこちら

|      |            |
|------|------------|
| 掲示   | 2023年2月1日  |
| 期間   | 2023年2月28日 |
| 担当部署 | 総合研究機構     |

お問合せ 福岡工業大学 総合研究機構事務室  
092-606-1077 kankyoweb@fit.ac.jp  
泉(6690)・竹下(2263)

13:40 - 14:10

玄界灘野生ビロウ(*Livistona chinensis*)の起源に関する歴史的背景  
—荒津山・小呂島・能古島ビロウと平戸ビロウの遺伝子検査分析から—

☆山口 哲也 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科  
森山 聡之 福岡工業大学 社会環境学部 教授  
大井 和之 (財)九州環境管理協会

14:10 - 14:40

## 国際法研究・外交史研究の分野においてAI技術の利活用の可能性(仮)

☆中川 智治 福岡工業大学 社会環境学部 教授

14:40 - 15:10

## 外交文書データを用いた国際法研究を補完するAI技術の利用(仮)

☆長岡 さくら 叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部 准教授  
福岡工業大学 総合研究機構 環境科学研究所

15:10 - 15:40

## 日中世界自然遺産の管理体制に関する研究

☆王 氷 九州大学 地球社会統合科学府  
李文忠 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科

15:40 - 16:10

海域における環境DNAを用いた魚類群集の継続的モニタリングのための  
手法構築

☆乾 隆帝 福岡工業大学 社会環境学部 教授  
栗田 喜久 九州大学 農学研究院 准教授

お申し込みはこちら

お問合せ 福岡工業大学 総合研究機構事務室  
092-606-1077 kankyoweb@fit.ac.jp  
泉(6690)・竹下(2263)



|      |            |
|------|------------|
| 掲示   | 2023年2月1日  |
| 期間   | 2023年2月28日 |
| 担当部署 | 総合研究機構     |